

<第4382回>

目的地：金剛山南尾根（金剛山）

担当者：時本

実施日：2023年6月25日（日）

形式：ポッカ訓練パートI

費用：¥1,700.（難波発着・交通費（往570(南海電鉄) + 往480(南海バス) + 復650(南海電鉄)）

参加者：17名

天気：晴れ時々曇り

行程：

難波駅(7:35)＝(南海電鉄)⇒(8:04)河内長野駅[集合場所](8:15)＝(南海バス)⇒(8:41)金剛登山口[510m](9:00)－[タカハタ谷]⇒(10:39)金剛山(社務所前)[約1,080m](10:55)⇒(11:26)ちはや園地[約1,020m・昼食](12:00)⇒(12:37)中葛城山(12:43)⇒(13:25)千早峠[784m](13:36)⇒(14:10)行者杉(14:47)⇒(15:41)西ノ行者[733m](15:47)⇒(17:12)紀見峠駅[約220m・解散]＝(南海電鉄)⇒難波駅

感想：

今年の金剛山ポッカ訓練は前日に雨が降らず当日も雨の心配がなかったため、予定通りタカハタ谷を経由して金剛山に登ることにしました。タカハタ谷経由は一昨年以來2年振りです。途中、渡渉箇所が何カ所もあり、他の迂回路があったのかも知れませんが、川筋の箇所を通過したことや、岩場もあるため、降雨のときはもちろんのこと、前日に激しい雨が降っていても避けた方が良いと思います。ただ、降雨時でなく、水位に心配のない夏の日なら、涼しさが心地よく感じます。近くにいらっしやった2～3人の方から、タカハタ谷は以前より道が荒れているとの感想があり、私もそのように感じました。今後は留意が必要です。やがて道は渡渉とは言えない程度の簡単な溪の横断を繰り返しながら水辺の歩行をした後、溪谷を離れ、高度を上げていきました。

金剛登山口からの登りを終え、社務所前に10:40頃に到着。タカハタ谷経由としては良いペースです。付近の気温を示すボードには18℃が表示され、当日、例年より気温が低いと感じたことを裏付けてくれました。社務所前で休憩して金剛山・葛城神社にやってきました。

ここはコースの中で最も高いところなので集合写真を撮影したくなります。もっとも、神社建物のすぐ手前の、写真に写ってしまう位置に日付と場所を示す看板が設置されていて、観光スポットであることを示していますので登山の写真らしくない写真になります。Tさんはウチワを手にして涼しげに写真に写っておられましたが、登山口でこのウチワを見たときに、またしても持ってくるのを忘れてと後悔しました。次は忘れずに持ってくることにしましょう。

金剛山・葛城神社出発後、ちはや園地で昼食をとりました。ちはや園地には11:30前に到着することが予想されたので、一の鳥居付近で、お地蔵さん付近まで行って昼食タイムにしませんかと提案しました。しかし、近くにおられた方のなかからは、ちはや園地が良いとのご意見しか出てきませんでしたので、ちはや園地での昼食となりました。設備面で優れていることが、ちはや園地に人気のある最大の理由でしょう。ちはや園地の大屋根の下の休憩所には、この時期には不思議なことに他の方がいらっしやいませんでしたので、好きな場所にグループでまとまって座れて良かったです。

ちはや園地出発後、お地蔵さん前を通りました。以前は、ポッカ訓練の際にお地蔵さん前で集合写真を撮影することが多かったのですが、ここ数年は撮影していませんでした。今年は久しぶりに撮影してみようと思い、時間をあまりかけずに、近くの方だけで簡単に撮影しました。大阪青雲会とお地蔵さんの関係をご存知でないFさんに、Tさんが、このお地蔵さんは大阪青雲会が管理していると説明され、Fさんは意外感が先行したのか不思議そうに聞いておられました。

久留野峠まで下った後、見上げるような中葛城山への登りが始まります。これから登らなければならない急斜面を目にして、久留野峠ではみなさん一旦立ち止まってしまわれます。しばしのためらいの後、覚悟を決めて一歩ずつ。でもこの急斜面を登りきると後はまとまった登りはないので気が楽に

なります。やがて久留野峠からの登りが終わり、中葛城山で一息ついて集合写真を撮影しました。中葛城山ではSさんから差し入れのスイカをいただきました。冷えていて暑い時期だけにより一層おいしく感じました。ありがとうございました。

中葛城山から先にはササユリが自生しているところが、ダイヤモンドトレイル沿いに何か所かあります。「ササユリは以前に比べ増えているように思う。」とはSさんとおさんの感想です。保護することを周知されていて、皆さんが守っていることが奏効しているのでしょう。

千早峠で休憩後、次の休憩場所の行者杉でティータイムとしました。松岡さん、ブルーベリーの差し入れ、ありがとうございました。Mさんにはずっと最後尾を歩いていただいていたので、ここで気分転換として以後は先頭を歩かれますか、とお聞きしましたが、遠慮されました。今回は遅れる方もいらっしゃらず、大変ということはありませんが、列の中で位置を変えることができず、ロングコースなだけに後ばかりが続くと飽きてこられたことと思います。お世話になりました。行者杉ではTさんから、「山の神」から先の行程について、すべて舗装道を歩く紀見峠経由ではなく、土の道を多く歩くショートカットコースをとろうと提案があり、何人かの方が同意見を言われたため、この程度のマイナーチェンジは許容範囲と考え、ショートカットコースを選ぶこととしました。後の話になりますが、ショートカットコースの方が格段に歩きやすく良かったです。また、過去の例会報告を見ていましたら、2020年6月のポッカ訓練でもショートカットコースを選択していたことに気がきました。この時は、Sさんの提案によるものでした。

行者杉を出発してもまだ先は長く続きます。通常の例会では行程の終盤にティータイムをとることが多いのですが、金剛山南尾根ポッカ訓練では、長年にわたってこのポッカ訓練を率いてこられた佐藤前々会長の時代から、伝統的に行者杉でティータイムをとっていました。ティータイムの休憩をするとつい気が緩むのですが、油断は禁物で先の長さを思い気を引き締める必要があります。Nさんは、今回を復帰後初の本格的な（ハードな）例会参加と位置付けていると言われていましたが、全行程を通じて快調に歩かれていました。これで安心ですね。

山の神からは、先述のショートカットコースを進み、やがて紀見峠経由のコースと合流すると、下山したという感じがします。参加いただきました方には、長いコースの例会を歩かれ、お疲れさまでした。続く2回のポッカ訓練を含め、ポッカ訓練に参加されることが、暑くハードな夏山に少しでも快適に歩けることにつながると思います。今回、紀見峠駅には17:12着で、終盤にショートカットコースを選択したとはいえ、タカハタ谷経由で17時台前半に到着したことは、それなりに良いペースで歩けたのではないのでしょうか。参加された皆様にお礼申し上げますとともに、良い夏山を経験されることを願っています。